

S P R e S S O

THE SENDAI BANK
Disclosure

仙台銀行 2011年中間期 ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレッソ]

「ふるさと宮城」の復興に向けて仙台銀行は全力で応援します



ふるさと宮城の一日も早い震災復興に向けて 私たち仙台銀行は 全力で地元企業を応援します

地元企業応援部を創設、きらやか銀行とも連携し復興を後押し



東日本大震災からの早期復興に向けて、私たち仙台銀行は、被災地の地域金融機関として強い使命感と決意をもって立ち上りました。

平成23年6月、地元企業の復興をトータルにサポートする「地元企業応援部」を創設。復興支援の企画立案、被災企業の再生支援、復興融資の各分野を担う行内エキスパート42名(平成23年12月末現在)をここに集結させました。

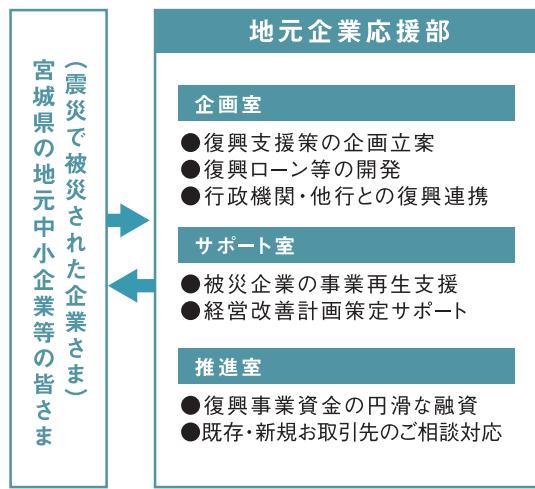
私たちの合言葉は、「現場主義の徹底とスピード力」。地元企業応援部は、宮城県内支店の営業担当者と一緒にお取引先を訪問。被災地の現場で、お取引先の復興に向けた様々な悩みや考えを聞き、共に考え、そして迅速に事業再生プランを提案・実行しています。

また、経営統合を進めるきらやか銀行(本店:山形市)との連携も更に強化。県境を超えて2つの力を結集し、復興を強力に後押しします。

ふるさと宮城の復興へ向けて、私たち仙台銀行は、宮城の皆さんと共に歩んでまいりたいことを、ここにお約束いたします。

●地元企業応援部の体制

(震災で被災された企業さま)
宮城県の地元中小企業等の皆さま



**仙台銀行の応援が
取引先の元気を取り戻す
これが私の支えです**

地元企業応援部推進室
小林 恵美



被災したお取引先が抱える問題は本当に様々です。私は毎日お取引先に訪問し、社長さんから復興の考え方をしっかりとお聞きし、最適なローン商品等を提案しています。

今回の津波で新築したばかりの食品工場が全壊してしまったお取引先があります。社長さんは事業再建に強い意欲をお持ちであることから、担当支店とも相談し、当行の借入金を劣後ローンに変更して返済順位を後回しにすることで事業の早期再生につなげました。

社長さんからは、「工場は全壊したけれど、これで事業再建に向けて頑張ることができる」と本当に力強い言葉をいただきました。

私たち仙台銀行の応援によって、お取引先が再び元気を取り戻していく。これこそが私の大きな支えです。

**震災復興情報や
復興ローンを取引先へ
タイムリーに提供**

地元企業応援部企画室
千葉 圭



震災発生以降、行政機関やコンサルタント等から日々多くの震災関連情報が発信されています。私の役割は、この多岐にわたる情報を収集・整理し、被災取引先が復興支援制度をスムーズに活用できるように提供することです。何よりもスピードを重視しています。

また、営業現場から寄せられる復興資金ニーズをキャッチし、復興専用ローンの開発も担当しています。これまで個人事業者向けの「ビジネスローン クイック300」、復興資金需要にも対応する「みやぎ応援ファンド」などを企画・開発しました。

企画室のコンサルティング力とネットワークを駆使し、これからも被災取引先の要望にタイムリーに対応できるよう頑張ります。

私たちの思いと力を、地元企業の復興のために

**震災直後から被災取引先へ訪問
深い信頼を得て
震災融資に対応**

東部工場団地支店
浅野 昌仁



当支店の営業エリアには、津波で地区一帯が壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸部（蒲生地区、荒浜地区）があります。

ライフラインが完全に断たれ、ガソリンも不足するなか、私たちは震災直後から、お客様の安否や被害状況等を確認するため、泥まみれの営業車や自転車を毎日懸命に走らせて訪問活動を行いました。

また、震災対応の制度融資や復興支援策の情報をいち早く提供することで、復興に向けたお取引先の意欲を喚起し、職員全員で力を合わせて、震災融資に迅速に取り組みました。

震災後の大混乱の中、真っ先にお取引先へ訪問したことは、今まで以上に深い当行への信頼に結びついたものと私は確信しています。

**震災後の気仙沼を駆け回り
住宅ローン利用者を
懸命に支援**

気仙沼支店
村上 和貴



水産業が盛んな気仙沼市は、地震と津波、火災で多数の建物や工場等が全壊・倒壊しました。震災から10ヶ月が経過し、震災後のがれき撤去作業等も進み、水産加工業も徐々に営業再開するなど、ようやく復旧・復興へ向けて動きはじめました。

私は住宅ローン担当者として、震災直後から住宅ローンご利用者の安否確認に被災した気仙沼市内を駆け回りました。当支店も津波で全壊して机やパソコンもない厳しい環境でしたが、一人ひとりに連絡をとり、返済一時停止や条件変更に懸命に取り組みました。

お客様の「仙台銀行も被災して大変だろうけど、気仙沼の復興のため頑張って」との激励の言葉を胸にしっかりと刻み、一日も早い気仙沼の復興に向けてこの力を一生懸命注いでいきます。

東日本大震災からの復興に向けた当行の取り組み

きらやか銀行と復興支援への連携をさらに強化

当行ときらやか銀行は、経営統合に先立ち、平成23年6月に震災復興支援に向けた連携に係る契約を締結しました。

これまで当行は、きらやか銀行の事業再生ノウハウを活用し、当行では初となるDDS手法(既存債務の劣後ローン転換)で被災企業の事業再生を支援したほか、復興事業に携わる宮城県内の建設業者を支援するため県境を超えたビジネスマッチングなどに取り組んでおります。



経営統合委員会で復興支援策を協議



山形花笠まつりへ両行が一緒に参加

沿岸部復興のため石巻に住宅ローンプラザを新設

沿岸部で被災された方の住宅再取得やローンご返済の相談等に迅速に対応するため、平成23年7月、石巻市に住宅ローンプラザ(中里支店内)を開設し6名の専門スタッフを配置しました。

住宅ローンプラザでは、住宅再建に向けた様々な補助支援制度も紹介しながら、ご利用者のニーズを踏まえて住宅再取得資金の相談・提供に迅速に取り組んでおります。

仙台市泉区にも復興支援のため住宅ローンプラザを開設予定です。



石巻住宅ローンプラザのスタッフ



住宅再取得へのご相談に迅速に対応

平成23年 5・6月

職員の懸命な復旧作業によって
沿岸部支店の窓口営業を順次再開

平成23年
3月11日
震災発生

平成23年 7・8月

地元企業応援部、住宅ローンプラザを新設
復興支援へ向けた行内体制づくりを本格化

復興へのあゆみ VOL.1

- 5月2日 震災で営業休止した5店舗(歌津・志津川・雄勝・女川・宮城野)が、近隣店舗内に移転して通常営業を再開。
- 5月13日 被災した気仙沼市内に店舗外ATM「ダイシン気仙沼店出張所」を新設。
- 5月18日 きらやか銀行との経営統合委員会を震災後初めて開催。
- 5月20日 震災で営業休止した気仙沼支店が同市内に移転して通常営業を再開。
- 6月10日 きらやか銀行と震災復興支援に向けた連携に係る契約を締結。



歌津支店は津谷支店内に移転して
営業再開



被災した気仙沼市内に
店舗外ATMを新設

- 6月29日 定時株主総会で国の資本参加に向けた優先株式発行に係る定款変更が承認。
復興支援の専門部署である「地元企業応援部」を新設。
- 7月12日 津波被災地の石巻市に石巻住宅ローンプラザ(中里支店内)を開設。
- 7月31日 震災後の被災者向けの新規融資実績(累計)が100億円を突破。
- 8月1日 当行次期システム(STELLA CUBE)のユーザ会会員行6行*と災害時の相互支援提携を締結。
※神奈川銀行、但馬銀行、東京都民銀行、東北銀行、富山銀行、長野銀行



気仙沼支店は市内へ移転して営業再開



震災直後からお取引先の復興相談に対応
(本店地元企業応援部)

国の資本参加により復興支援体制を強化

当行は、被災地の地域金融機関として宮城県の復興支援に万全の体制で取り組むため、平成23年9月に改正金融機能強化法に基づく国の資本参加300億円を申請し、自己資本を増強いたしました。

この資本増強によって財務基盤を安定化させるとともに、経営強化計画に基づく多面的な復興支援策を長期にわたり積極的かつ着実に実行できる体制を整備いたしました。当行は、国民の皆さまのご期待に応えられるよう宮城県の復興支援に全力を尽くしてまいります。



復興資金のご相談に迅速に対応
(東部工場団地支店)



お取引先と共に復興へ歩みます
(気仙沼支店)

平成23年 9・10月

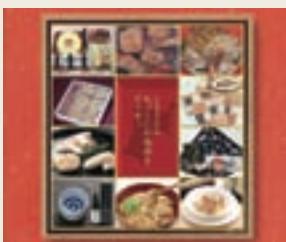
復興支援に向けて国の資本参加300億円を受け
財務基盤を大幅に強化

復興へのあゆみ VOL.2

- 9月14日 改正金融機能強化法に基づく300億円の国の資本参加が決定。
- 9月16日 沿岸部被災地の高校卒業予定者に限定して新卒採用選考を実施。
- 9月30日 公的資金300億円の優先株式を発行し国の資本参加による資本増強手続が終了。
- 10月1日 被災地・石巻市雄勝地区のゆうちょ銀行ATM(雄勝総合支所)で当行キャッシュカードを利用した際の手数料返戻を開始。
- 10月28日 震災復興小口資金融資「ビジネスローン クイック300」を販売開始。
- 11月7日 震災で被災した将監支店の建替工事に着手し、仮店舗で営業を開始。



秋季講演会 講師 内館牧子氏



みやぎ応援キャンペーン
(平成24年1月31まで)

被災地の復興支援に向けて店舗体制の見直しを実施

当行は、被災地の預金者の皆さまの利便性を回復するために、平成23年11月に南三陸町歌津の仮設住宅地に店舗外ATMを設置したほか、12月には女川町・女川高等学校敷地内の仮設合同庁舎内に出張所窓口をオープンしました。平成24年度には、津波被災地を巡回営業する移動式店舗(トラック)を導入する方針です。

また、宮城県内陸部等の6店舗を移転統合し、その人員等を復興支援業務へ再配置するなど、復興支援体制をさらに強化いたします。



女川町仮設合同庁舎に開設した出張所窓口



南三陸町の仮設住宅地に設置した店舗外ATM

平成23年 11・12月

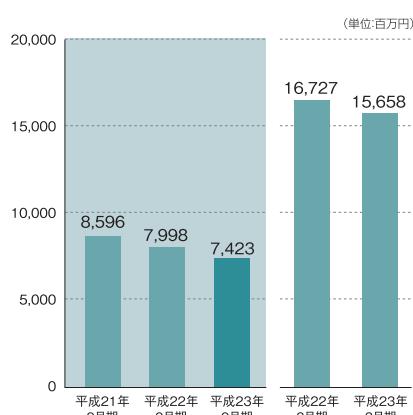
一日も早いお取引先の復興に向けて
職員が力を合わせ支援策を多面的に展開

- 11月18日 脚本家・内館牧子氏を招き「宮城・東北の復興に向けて」と題し秋季講演会を開催。
- 11月24日 被災企業支援のため、東北・南九州・沖縄の第二地方銀行9行制作による名産品カタログ(通販)を発行。
- 11月28日 南三陸町歌津地区の仮設住宅地に店舗外ATM「平成の森出張所」を新設。
- 11月30日 震災後の被災者向けの新規融資実績(累計)が200億円を突破。
- 12月1日 「みやぎ応援キャンペーン」で、取引被災企業の名産品を抽選でプレゼント。
- 12月5日 被災地・女川町の仮設合同庁舎に出張所窓口を新設。
- 12月9日 復興支援体制の強化に向け宮城県内3店舗(八幡町・三本木・高清水)の移転統合、泉住宅ローンプラザの新設を公表。
- 12月13日 震災復興に取り組むまちづくり団体等9先へ公益信託「まちづくり基金」から総額70万円の助成決定。
- 平成24年 1月4日 復興資金需要に対応する「みやぎ応援ファンド」(事業融資枠200億円)を創設。
- 1月13日 復興支援体制の強化に向け3店舗(鳴子・米川・東京)の移転統合、沿岸部への移動式店舗導入を追加公表。

当行の業績について(個別)

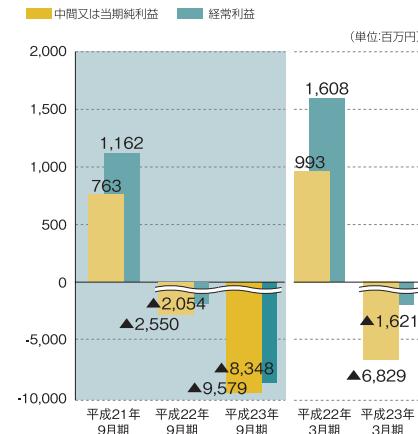
経常収益

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が減少したことなどから、74億23百万円(前年同期比5億75百万円減)となりました。



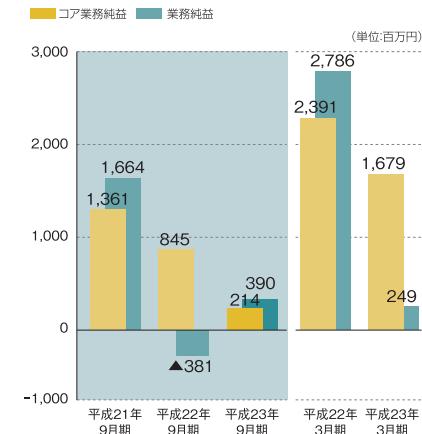
経常利益・中間純利益

経常損益は、震災による取引先への影響等を調査のうえ出来る限り保守的に自己査定を行い、貸倒引当金42億円を追加計上したことや、震災及び世界的な金融市場の混乱等の影響により、保有有価証券の減損処理37億円を実施したことなどから、83億48百万円の損失(前年同期比62億94百万円減)、中間純損益は、95億79百万円の損失(前年同期比70億28百万円減)となりました。



業務純益・コア業務純益

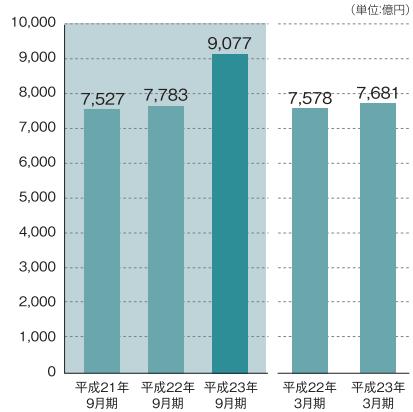
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや経費が増加したことなどから、2億14百万円(前年同期比6億30百万円減)となりました。



*コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額及び債券売買等の損益を控除した金額をいいます。

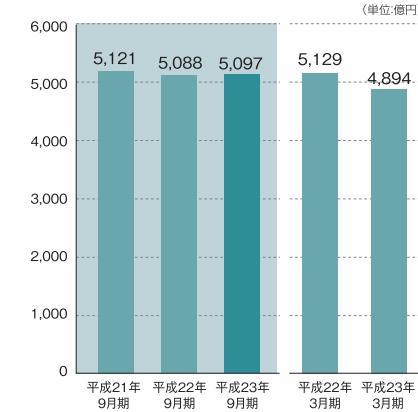
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、震災にともなう各種保険金や義援金等の受入れにより個人預金や法人預金が増加したことなどから、9,077億46百万円(平成23年3月末比1,395億83百万円増)となりました。



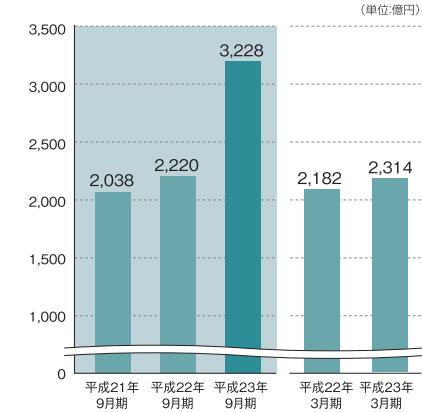
貸出金残高

貸出金残高は、中小企業向け貸出や地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、5,097億54百万円(平成23年3月末比203億9百万円増)となりました。



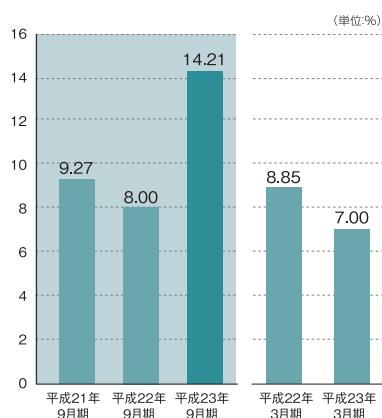
有価証券残高

有価証券残高は、預金残高の増加にともない、国債を中心に運用額を増加したことなどから、3,228億31百万円(平成23年3月末比913億33百万円増)となりました。



単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、国の資本参加300億円による資本増強により、平成23年3月末比7.21ポイント上昇し、14.21%となりました。



格付

当行では、第三者による評価をとおして、財務内容の健全性と経営の透明性を積極的に開示していくことにより、株主やお取引先の皆さまに当行の経営状況をより深くご理解いただくことを目的に、株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しております。

格付機関

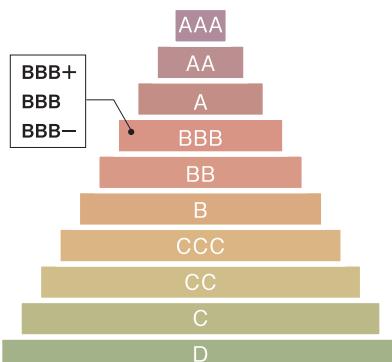
株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類
長期優先債務格付

格付
BBB- (トリプルBマイナス)

見通し
安定的

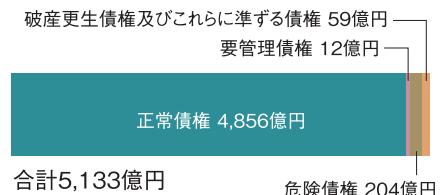
(平成23年12月末現在)



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見返等)のうち、正常債権以外の債権額は、276億80百万円(平成23年3月末比83億78百万円増)となりました。

■金融再生法に基づく開示債権額(平成23年9月末現在)



正常債権 4,856億円

危険債権 204億円

合計5,133億円 (平成23年9月末現在、単位:百万円)

■金融再生法開示債権の保全内訳

	債権額(A)	保全額(B)	担保・保証等	貸倒引当金	保全率(B/A)
破産更生債権及びこれに準ずる債権	5,991	5,991	4,166	1,824	100.00%
危険債権	20,460	19,804	16,108	3,696	96.79%
要管理債権	1,228	794	722	72	64.68%
正常債権	485,694	255,596	252,396	3,200	52.62%
合計	513,375	282,187	273,394	8,793	54.96%

破産更生債権及びこれに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

■不良債権比率の推移



金融再生法開示債権残高
不良債権比率

(単位:億円)

(単位:%)

204

5.39

276

3.98

4.62

239

0

100

200

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

0

50

100

150

200

250

300

好品質計画 ♪

仙台銀行の概要(平成23年9月末現在)

創業 昭和26年7月5日
資本金 224億85百万円
本店 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
店舗数 71カ店(宮城県内70カ店、東京1カ店)
行員数 815人(男子563人、女子252人)
預金・譲渡性預金 ... 9,077億円
貸出金 5,097億円

※2011年9月期の詳細な財務データにつきましては、「2011年中間期 ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代)
平成24年1月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>

S-PRESSO

「S」 SENDAI BANK
「press」 内容の濃い情報発信
「O(ゼロ)」 原点を忘れない

仙台銀行は、設立の原点である
「宮城県の金融円滑化への貢献」が企業使命です。
仙台銀行の業績やトピックスを
2011年中間期 ディスクロージャー誌 別冊「Spresso(エス・プレッソ)」に
分かりやすく“濃縮”しましたので、どうぞご覧ください。